

**2023年度
全国高校野球OBクラブ連合理事会（第3回）**

日 時： 2023年10月28日（土）14：00～18：00
場 所： 神戸ポートピアホテル 南館4F レヴァンテ）
出席者： 戒能、前崎、宝槻、高山、小川、北野、長ヶ原
事務局： 彦次、乾、山下

議 題：

- 1) 総会資料一式（※総会資料番号に基づく）
- 2) その他

議事録

14：00 より長ヶ原理事長（以下、理事長と称す）の挨拶と次第内容および出欠者の確認により開会

議題1)

理事長より資料に基づき、2023年度全国高校野球OBクラブ連合総会の次第と出席者について説明された。また、総会の議長に高山理事を選出することで一致した。理事の再選について

理事長より資料3-1に基づき、全国高校野球OBクラブ連合への現在の加盟状況が説明された。その後、来年以降の大会に向けた各都道府県リーグの状況が、各理事より添えられた。

宝槻理事より、原発事故により現在募集停止となっている5校を束ねる形で2015年に開校したふたば未来学園高校に関して、チームの年齢構成が統合前と統合後別々では現状では野球部OBでも一方が34歳以下のみ、もう一方が35歳以上のみという状況にあるため、今後の出場にあたっての確認がされた。本件については、高山理事より、現状では例外を認めず、統合前の高校を含めた現校名での出場を基本線とすべきであるとされ、一致した。

戒能理事より、未加盟の岡山県へのアプローチを検討している旨が報告された。合わせて、現在都道府県リーグ予選を軟式球で開催しているリーグについて確認され、近畿4県含む10リーグでの使用が報告された。

前崎理事より、統廃合や新たな加盟検討による今後の加盟校増減の可能性について報告された。

続いて、理事長より資料3-2に基づき、今回30回記念全国高校野球OBトーナメントに際して開催された各ブロック大会について説明され、今後のブロック大会開催に向けた課題について、

各理事より報告された。

近畿ブロックについては北野監事より、今回の大会で使用した得失点差率の計算方法について出場チームより質問が寄せられたことが報告された。この件について、前崎理事より現在規則に記載している「1 イニングごとの得失点差を計算する」ではなく、「9 イニング換算の計算で」という文言に修正が必要ではないかと提案がされた。記載に方法については混乱を招くことがないように文言の修正を含めて引き続き検討していくことで一致した。

戒能理事より、熱中症等の懸念から8月お盆休みという開催時期や、複数球場使用時の安全対策や承認バットの必要本数の再検討、時間制ではなくイニング制での実施の希望が大会運営の際に意見として出たことが報告された。

加えて高山理事より、東日本大会で手甲ガードの使用について出場校より相談があったことが報告された。現行の高校野球規則では手甲ガードの使用は認められていないが、出場校が白色ガードを持ち合わせていたため、その他の使用可能用具で認められている色であることを考慮してその場では使用を認める対応をした。各理事より、用具使用について原則は高校野球規則に準ずる一方で、安全対策を踏まえた検討も必要ではないかという意見が出され、今後の検討事項としていくことで一致した。

また、理事長より今回のブロック大会の開催費用について、次回以降のブロック大会の目安となる点や3年後に開催される次回ブロック大会開催場所等の予定について、各理事より現在の方向性が報告された。

北海道・東北ブロックでは、宝槻理事より、岩手県へ打診中であることが報告された。

関東ブロックは、高山理事より、関東ブロック大会は毎年開催のため、来年以降について群馬→埼玉→東京→神奈川の順での開催が決定している旨が報告された。

北信越・東海ブロックは、小川理事より、愛知県が手を挙げていることが報告された。また、事前会議について、オンライン会議での開催としたことで事前に出場チームとも注意事項などについて確認が出来たため、当日の運営が円滑に進んだことが報告された。

九州・沖縄ブロックは、前崎理事より、地理的な事情から熊本県での開催の要望が出ていることが報告された。また、地理的な面と旅費の面でも沖縄県リーグの参加については開催時期等も含めた対応が必要であると報告された。

理事長より、資料3-4に基づいて、マスターズ甲子園2023本大会開会式において選手宣誓をする2名について説明された。大会2日目最終試合の第20回記念全国高校野球OBトーナメント日本一決定戦に出場する両チームより選出された1名が、合わせて宣誓を行なう流れが説明された。また開会式では、前回優勝校の三重県・木本高校OBの代表者1名が優勝旗の返還を行なう流れが説明された。

理事長より資料5-3に基づいて、2024・2025年大会への申請枠申請状況について報告された。高山理事より年会費の徴収状況について質問があり、リーグによる一括納入、個別納入それぞれの状況が事務局より確認された。各理事より、リーグ内での納入状況の把握や今後のブロック大会開催等を鑑み、より円滑な年会費納入を促すためにも徴収方法を基本的にリーグによる一括納入とする方向で検討していくべきであるとの方向で一致した。

理事長より資料8に基づいて、2024—2025 年度全国高校野球 OB クラブ連合役員体制について説明された。次年度に向けた役員改選に関する流れが確認され、各ブロックでの理事選出の流れとともに、クラブ連合副理事長は東日本、西日本より1名ずつとすることで一致した。さらに会長、副会長、顧問、名誉顧問の体制と選出についても確認された。また、理事がリーグ幹事とブロック理事を務める中で、今年度のようにブロック大会の運営にも携わることになる負担を考え、各ブロックで副理事を決め、必要な場合は全国高校野球 OB クラブ連合理事会に代理で出席できる役員を選出しておくことも今後に向けて検討していくべき課題であるという提案が戒能理事よりあり、引き続き検討していくことで一致した。

以上で議案の審議が終了し、理事長により 17:31 に散会